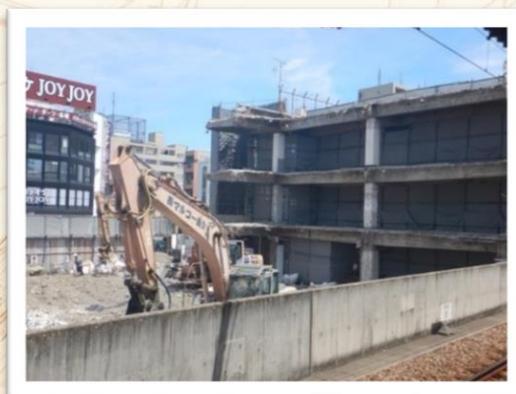




ついに岡ビルを閉鎖されることとなりました。

これまでは一部分を閉鎖しながら解体が進められてきましたが、令和6年10月26日をもちまして岡ビルが全面閉鎖されることになりました。

8月までに駅のホームから岡ビルの断面が見えるほどに解体が進んでおり、歴史ある建物が壊れていく様は感慨深く感じられます。60年以上にわたり多くの方に利用されてきた岡ビルですが、岡ビルについての思い出は年代により大きく変わるのではないのでしょうか。



岡ビルが完成したのは東京タワーが竣工した昭和33年です。当時、木造だった東岡崎駅を鉄筋コンクリート造に建て替える際に、合わせて生まれた岡ビルには地元根付いたお店が多入っており、当時から多くの方が足を運んでいたことが写真からもうかがえます。



(岡崎市所蔵) 東岡崎駅構内 [写真]

令和12年(2030年)完成予定の新しい駅ビルには1~4階には商業施設、5~9階には事務所などが入る予定です。

歴史あるこの東岡崎駅の風景を楽しめるのも残りわずかです。是非とも足を運んでみてはいかがでしょうか。



裏面に続く

～岡ビル解体のため地下改札への行き方が変わります～

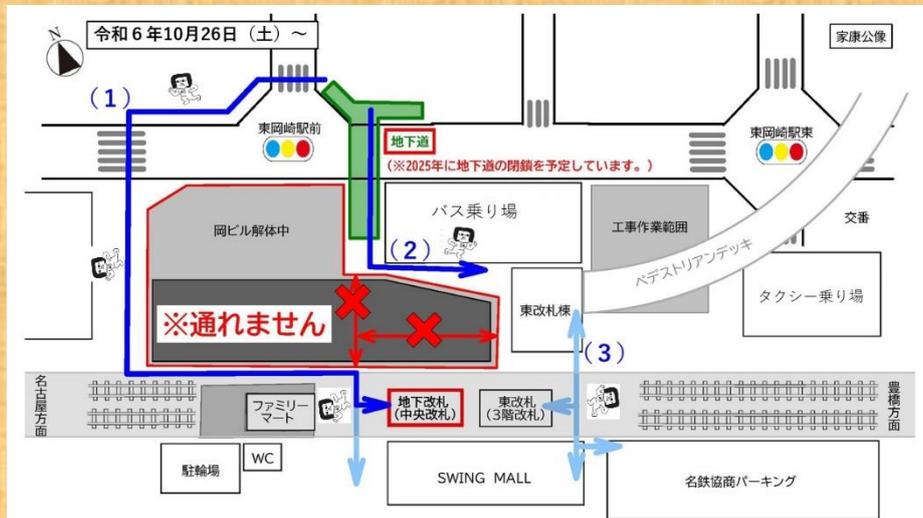
地下道から地下改札へ向かうことができなくなります。

地下改札をご利用の場合は（１）の経路をご利用ください。

また、南口から北口バス乗り場やタクシー乗り場へ向かう際は

（３）の経路をご利用ください。

※地下道についてはご利用いただけますが、2025年に閉鎖を予定しております。



HIGAOKA ロゴについて御紹介します。

まちの主要回遊動線「QURUWA」の沿線エリアの1つである東岡崎駅エリア。エリアとのつながりを意識し、「QURUWA」のロゴデザインをベースにして、東岡崎駅の愛称である「HIGAOKA」の頭文字の「H」と電車の車輪をイメージしたマークになっています。

「人とまちがつながるおもてなしの玄関口」を目指し、「つながり」を意識した東岡崎駅の整備を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



HIGAOKA
2030